

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

平成 27 年 1 2 月 2 2 日

計画の名称	1 室蘭港における港湾利用の効率性・安全性の向上		
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)	交付対象	室蘭市
計画の目標			

- ①老朽化した施設の機能維持・延命を目的とした改良を行い、港湾利用の効率性・安全性の向上を図る。
- ②港湾施設を適切に維持するため、2施設の維持管理計画を策定する。
- ③船舶の大型化に対応するため、港湾施設の機能を強化し、港湾利用の安全性の向上を図る。

計画の成果目標 (定量的指標)

- ①室蘭港港湾施設の老朽化対策に必要な4施設を平成30年度までに改良を実施し、効率性及び安全性の向上を図る。
- ②港湾施設を適切に維持するため、2施設の維持管理計画を策定する。
- ③大型化したクルーズ客船の利用のため、係留施設を改良し施設の安全性の向上を図る。
- ④埠頭保安設備の老朽化に伴い、施設利用に支障が生じているため、対策が必要な8施設の改良を行い施設利用の効率性・安全性の向上を図る。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	
①改良を実施した港湾施設数を算出する。 (対策済みの施設の割合) = (対策実施済施設数 / 要対策施設数) × 100 (%)	0施設/4施設 0%	0施設/4施設 0%	4施設/4施設 100%	
②適切な維持管理を行うため維持管理計画の策定が必要な港湾施設数。 (長寿命化計画策定率) = (計画策定済み施設数 / 計画策定総施設数) × 100 (%)	0施設/2施設 0%	2施設/2施設 100%	2施設/2施設 100%	
③機能向上が必要な施設数を算出する。 (対策済みの施設の割合) = (対策実施済施設数 / 要対策施設数) × 100 (%)	0施設/2施設 0%	2施設/2施設 100%	2施設/2施設 100%	
④施設利用に支障が生じ改良が必要な保安設備を有した施設を算出する。 (対策済みの施設の割合) = (対策実施済施設数 / 要対策施設数) × 100 (%)	0施設/8施設 0%	8施設/8施設 100%	8施設/8施設 100%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	825 百万円	A	823 百万円	B		C	2 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%
-------	---------------	---------	---	---------	---	--	---	-------	---------------------------	----

交付対象事業

A 港湾事業														全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間 (年度)						
											H26	H27	H28	H29	H30		
1-A1-1	港湾	北海道	室蘭市	直接	—	国際拠点	改良	西2号埠頭幹線道路の改良	延長 L=500m	室蘭港・築地地区						175	
1-A1-2	港湾	北海道	室蘭市	直接	—	国際拠点	改良	崎守埠頭4、5号岸壁 (-12m)防食対策	延長 L=480m	室蘭港・崎守地区						180	
1-A1-3	港湾	北海道	室蘭市	直接	—	国際拠点	改良	崎守埠頭7号岸壁 (-10m)改良	延長 L=185m	室蘭港・崎守地区						150	
1-A1-4	港湾	北海道	室蘭市	直接	—	国際拠点	改良	海岸町物揚場 (-2.5m~-3.5m)の改良	延長 L=405m	室蘭港・入江地区						227	
1-A1-5	港湾	北海道	室蘭市	直接	—	国際拠点	維持管理	長寿命化計画策定	橋梁2件	室蘭港						2	
1-A1-6	港湾	北海道	室蘭市	直接	—	国際拠点	改良	崎守埠頭5号、6号岸壁付属物改良	係船柱3基	室蘭港・崎守地区						30	新規
1-A1-7	港湾	北海道	室蘭市	直接	—	国際拠点	改良	埠頭保安設備の改良	カメラ制御装置、無停電電源装置	室蘭港						59	新規
											小計 (港湾事業)					823	
											合計					823	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30			
											合計						

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30			
1-C1-1	施設整備	北海道	室蘭市	直接	—	案内標識設置	公共埠頭案内看板設置事業	案内看板3基	室蘭港・築地地区							2	
											合計					2	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
1-C1-1	港湾事業(1-A1-1)と一体的に案内標識を設置し、利用者の利便性の向上を図る。																

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

計画の名称	1 室蘭港における港湾利用の効率性・安全性の向上	
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)	交付対象 室蘭市



※ ▲ 長寿命化策定計画策定(1-A1-5)

※ ○ 案内標識設置 効果促進事業(1-C1-1)

※ □ 保安設備の改良(1-A1-7)

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：室蘭港における港湾利用の効率性・安全性の向上

都道府県名：室蘭市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	✓
②緊急性の高い課題に取り組む内容となっている	✓
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	✓
②定量的指標の明瞭性	✓
③目標と事業内容の整合性	✓
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	✓
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	✓
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	✓